

総括

令和5年度は、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の当期指定管理5年間の中間となる3年目であり、次期指定管理を見据えて、これまでの成果と反省を踏まえ文化芸術事業の推進及び施設運営を行ってきた。

令和5年5月からは、新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」となり、行動制限等が解除される中、必要な感染防止対策を講じつつ事業全般にわたり感染症発生前の状況に戻しているが、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館ともに入場者・入館者が急速に増加し、令和6年の年明けには、ほぼコロナ前の状況に回復することができた。特に、北斎美術館では、インバウンドの増加を背景に北斎の世界的知名度を活かし国内外に情報発信する中で、外国人の入館者が高い割合を占める状況となっている。

財務状況については、音楽振興事業の令和5年度予算に計上した日本芸術文化振興会からの助成金約 5,400 万円が不採択となり収入できず、非常に厳しい財務状況を強いられることとなった。しかし、結果的に、経済産業省のJLOXの補助金約 2,000 万円を新規獲得することができ、さらには、堅調な入場料収入の確保、経費削減等の内部努力によって、音楽振興事業は大幅な収支差額のマイナスを回避することができた。北斎振興事業では、事業計画を上回る好調な観覧料収入を背景に収支差額をプラスにすることができた。

- **音楽振興事業** 令和5年度事業計画のとおり、墨田区、新日本フィルハーモニー交響楽団、ホールが三位一体となり、あらゆる区民が身近に音楽を感じられるよう、多彩な自主・協働事業を企画し事業実施した。また、すみだ音楽大使の佐渡裕氏の協力を得ながら、教育機関や地域と連携した音楽活動を積極的に行ってきた。新たな取り組みでは、主催公演のリアルタイムフル配信など、デジタルコンテンツを取り入れた事業を実施した。さらには、音楽療法を取り入れたアウトリーチ活動をはじめ、社会的課題の解決に向けた様々な取り組みを継続して展開した。
- **北斎振興事業** すみだ北斎美術館の入館者が令和5年6月に 100 万人に達するなど、コロナ5類移行後、急激に入館者数が回復した状況である。展示事業は事業計画どおり実施し、キャッシュレス決済の導入、インバウンド対応として展示室内で翻訳アプリを利用可能とするなど、来館者サービスの向上を図った。また、学校への出前授業の実施をはじめ地域の諸団体等との関係の強化を図った。令和5年 12 月には、各種調査研究の成果をまとめた『研究紀要 NO. 2』を発行した。

美術館設備の経年劣化等の状況を踏まえ、令和6年2月 27 日から3月 10 日まで臨時休館し、墨田区の指導に基づき設備関係等の修繕工事を適切に実施した。

- **墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業** 区民や文化団体・アーティスト等の担い手の取り組みを把握し、助成制度やアートプロジェクト等を通じて主体的かつ持続的な活動を促し、文化芸術活動の企画実現のためコーディネートに努めるなど、中間的支援の役割を担った。

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

1 トリフォニーホールの事業展開

すみだトリフォニーホールは(以下「トリフォニーホール」という)平成9年の開館以来、芸術文化の創造・発信拠点として、フランチャイズ・オーケストラ新日本フィルハーモニー交響楽団(以下「新日本フィル」という)との連携・協力により多彩な自主・協働企画事業を行っている。すみだ音楽大使の佐渡裕氏が、令和5年度から新日本フィルの第5代音楽監督に就任し、トリフォニーホールは区と新日本フィルと共に一層一体となって、区民、産業、福祉、教育、地域等の様々な分野を巻き込み事業を展開している。

また墨田区の支援によりスタートした「音楽事業推進補助事業」は3年目を迎え、多くの区民の来場が実現するなど取組みが定着し、積極的な事業展開及び広報活動を推進できたことが大きな実績であった。令和5年度は新たに経済産業省の JLOX(コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金)を獲得し、主催公演をリアルタイムフル配信するなど、デジタルコンテンツを取り入れた新たな取組みを実施した。

トリフォニーホール区民モニターアンケートでは、今後のトリフォニーホールのあり方や新たな音楽監督を迎えた新日本フィルへの期待や、令和4年度から開始した「音楽療法を取り入れたアウトリーチ」など、幅広い視点から多岐にわたる項目について調査を実施した。モニター登録者数は前年度より大幅に増え、400名を超える区民からの意見・要望、また幅広い視点からの客観的な評価を指標として活用した。

2 主催公演における積極的な事業実施

主催公演においては世界的に活躍する一流アーティストと、フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルとが共演する新日本フィル活用事業を積極的に展開した。特に、90歳という年齢を微塵も感じさせないジャズ界のレジェンド、渡辺貞夫氏とのスペシャル・コラボレーション「渡辺貞夫 meets 新日本フィル」、また、トリフォニーホール開館以来、音楽を通して「平和のメッセージ」を発信し続けている「すみだ平和祈念音楽祭 2024」などは、早々にチケットが完売するなど、大きな注目を集めた。



2023/4/29(土・祝)「渡辺貞夫 meets 新日本フィル」
入場者 1,626 名



2024/3/9(土)すみだ平和祈念音楽祭 2024
「井上道義&新日本フィル」 入場者 1,654 名

「音楽事業推進補助事業」では、「野村萬齋～狂言への誘い～」「岩崎宏美&岩崎良美 meets 新日本フィル」など、日本の伝統芸能や著名アーティストの本格的なパフォーマンスを低廉な区民割引価格で楽しんでもらう機会を提供し、多くの区民が来場した。障害のある方も、子どももお年寄りも、誰もが一緒にホールに集い、気軽にクラシック音楽を楽しめる「ようこそ！誰でもコンサート」をはじめ、子育て支援を目的にお母さん、お父さん、お腹の中の赤ちゃんもリラックスして鑑賞できる「リラックス・コンサート」の実施など、「音楽事業推進補助事業」では区民来場率が50%近くに昇り、この事業が区民の高い関心を集め確実に定着してきていることがうかがえる。



2023/6/14(水)「野村萬齋～狂言への誘い～」
入場者 1,303 名 (うち区民 938 名 72%)



2023/7/1(土)「岩崎宏美&岩崎良美 meets 新日本フィル」
入場者 1,637 名 (うち区民 790 名 48%)

年間を通じて、ホールの財産でもあるパイプオルガンを活用した多彩な事業を実施した。特に子どもから大人までのすべての区民を対象としたオルガン体験会は、毎回応募者が定員を大きく上回るなど、鑑賞するだけの楽器だったオルガンが身近な楽器として区民に浸透していることがうかがえる。

令和5年度も必要な感染防止対策を講じながら、区立小中学校全校での音楽指導事業ならびに区内福祉施設での「ふれあいコンサート」を実施した。新日本フィルのメンバーによるアウトリーチ事業では令和4年度から開始した「音楽療法を取り入れたアウトリーチ」を区内小・中学校3校に拡大し、特別支援学級の児童・生徒を対象に実施した。効果測定した専門家の医師からは、「継続的に音楽を提供することでもたらされる行動の変化や音楽に対する意識や感じ方に変化が見られ、特別支援学級の児童・生徒たちにとって課題となりやすい社会性や身体協応を促すことに役立ったと思われる。」という検証結果の報告があった。また、墨田区立中学校吹奏楽部を対象とした新日本フィル楽団員による実技指導も3年目を迎え、各校の演奏レベルの向上に寄与している。部活動の地域移行を見据えて、今後もサポート体制を構築していく。

東京文化会館と協働で実施しているワークショップリーダーによる小中学校向け音楽づくりワークショップでは、体験を通して自己表現能力やコミュニケーション能力を養うことで豊かな心を育てることに繋げる取組みを実施した。

3 音楽等の鑑賞機会の提供

(1) 公演事業

トリフォニーホールの大ホールを主な会場として、フランチャイズ・オーケストラである新日本フィルを活用した、あらゆる区民に届ける鑑賞公演、世界の第一級音楽家による芸術性の高い公演、大ホールのシンボルであり区民の財産でもあるパイプオルガンを活用した公演を実施した。

令和3年度にスタートした「音楽事業推進補助事業」では、質の高いパフォーマンスを低廉な価格で鑑賞できる機会をこれまで以上に創出した。日本の伝統芸能や著名アーティストによる公演など、音楽を中心とした様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、舞台芸術の振興を図った。

■フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月29日(土祝)	<p>渡辺貞夫 meets 新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[概要] 日本ジャズ界の第一線で活躍し続けるレジェンド、渡辺貞夫 90歳の生誕祭として新日本フィルとのスペシャル・コラボレーションにて公演を実施した。</p> <p>前半は渡辺貞夫グループでの演奏、後半はオーケストラと共演した。</p> <p>[出演] 渡辺貞夫(サクソ)、村田陽一(指揮)、新日本フィル ほか</p> <p>[演目] NICE SHOT TSUMAGOI SUNDANCE MY DEAR LIFE ほか</p>	1,626人
2	5月6日(土)	<p>アンナ・フェドロヴァ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[概要] 動画アクセス数 3500万回を記録し世界的に高い評価を得ているウクライナ出身のピアニスト、アンナ・フェドロヴァと日本を代表するオーケストラ新日本フィルとの共演。前半はピアノ・リサイタル、後半はオーケストラと共演した。</p> <p>[出演] アンナ・フェドロヴァ(ピアノ)、本名徹次(指揮)、新日本フィル</p> <p>[演目] 第1部:リサイタル ムソルグスキー/組曲《展覧会の絵》 第2部:コンチェルト ラフマニノフ/ヴォカリーズ(オーケストラのみ) ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18</p>	1,207人
3	8月11日(金祝)	<p>下野竜也プレゼンツ! 音楽の魅力発見プロジェクト 第10回 「大河ドラマのテーマ曲徹底解剖! その2」</p> <p>[概要] 区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらうシリーズ企画の第10回。毎回好評なレクチャー付きコンサートとして実施した。前々回で好評だった大河ドラマのテーマ曲を特集した。</p> <p>[出演] 下野竜也(指揮)、池辺晋一郎(ゲスト)、新日本フィル</p> <p>[演目] 富田勲/花の生涯(1963) 池辺晋一郎/峠の群像(1982) 小六禮次郎/秀吉(1996) 稲本響/どうする家康(2023) ほか</p> <p>関連企画:2023年8月11日(金・祝) ワークショップ、楽器体験</p>	1,426人
4	9月17日(日)	<p>井上道義 ザ・ファイナル Part1 「道義×小曽根×新日本フィル」</p> <p>[概要] 新日本フィルの第2代音楽監督を務めた井上道義と、井上がクラシックの世界に引き込んだ小曽根真との丁々発止の共演。この両者と新日本フィルとのスリリングなコラボレーションを実施した。</p> <p>[出演] 井上道義(指揮)、小曽根真(ピアノ)、新日本フィル</p> <p>[演目] モーツァルト/歌劇《ドン・ジョヴァンニ》K.527 序曲、ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 「ジュノーム」K.271、ショスタコーヴィチ/ジャズ組曲第1番、ピアノ協奏曲第1番 ハ短調 作品35</p>	1,680人

回	実施日	事業内容	入場者数
5	3月9日(土)	すみだ平和祈念音楽祭 2024 井上道義&新日本フィル [概要]ホールブランドを高め、区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。関東大震災及び東京大空襲で甚大な被害を被った墨田区において、開館当初から平和の祈りを音楽で発信するコンサートを実施している。 [出演]井上道義(指揮)、林真咲(メゾ・ソプラノ)栗友会合唱団(女声合唱) TOKYO FM 少年合唱団、プレーベル少年合唱団(児童合唱)、新日本フィル [演目]マーラー/交響曲第3番ニ短調 関連企画 ①2024年3月8日(金)・平和祈念コンサート(区役所1階アトリウム)・公開リハーサル ②2024年3月10日(日)・広島交響楽団創立60周年東京公演	1,654人

■大ホール等における自主企画公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	12月10日(日)	トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート 2023 第1回 0歳児からのオルガン・コンサート 第2回 しっかりじっくりオルガン・コンサート [概要]誰もが気軽に楽しめるパイプオルガンのコンサート。クリスマスにちなんだ曲やJ.S.バッハなど有名なオルガン作品を演奏した。 [出演]大平健介(オルガン)、加未徹(バリトン) [演目]J.S.バッハ/トッカータとフーガ ニ短調 BWV565、主よ人の望みの喜びよ BWV 147-10、A.ヴァメス/鏡、L.アンダーソン/クリスマス・フェスティバル ほか	2,909人 【第1回】 1,314人 【第2回】 1,595人
2	1月30日(火)	綾戸智恵 meets 新日本フィルハーモニー交響楽団 [概要]2001年以來となる綾戸智恵と新日本フィルの共演。20年以上の時を経て、円熟した演奏を披露した。 [出演]綾戸智恵(ピアノ・ボーカル)、竹本泰蔵[指揮]、林正樹(ピアノ)、鈴木正人(ベース)、渡嘉敷祐一(ドラムス)、新日本フィル [演目]Strangers in The Night、Let Me Try Again、It Don't Mean a Thing ほか	1,433人
3	2月3日(土)	すみだが生んだ人間国宝 五街道雲助落語会 [概要]2023年に人間国宝となった墨田区出身の五街道雲助の落語会を実施。祝賀的要素としてゆかりのある落語家などが集結した舞台となった。 [出演]五街道雲助、古今亭圓菊、弁財亭和泉、林家楽一(紙切り)、林家あんこ [演目]つる:林家あんこ、コンビニ参観:弁財亭和泉、家見舞:古今亭圓菊、紙切り:林家楽一、子は鏡:五街道雲助	230人
4	2月27日(火)	トリフォニーホール パイプオルガン・ランチタイム・コンサート [概要]平日の昼間に実施した、誰もが気軽に楽しめるパイプオルガンコンサート。オルガンの名曲を中心に、お話を交えての親しみやすい内容となった。 [出演]長田真実(オルガン) [演目]J.S.バッハ/トリオ ニ短調、協奏曲ハ長調より第1楽章、メンデルスゾーン/前奏曲とフーガ 作品 35-6 (オルガン編曲:ボッサート)、ブラームス/《6つの小品》作品 118 より第2曲「間奏曲」イ長調(オルガン編曲:松岡あさひ)、エルガー/行進曲「威風堂々」第1番 作品 39 ほか	875人

■墨田区音楽事業推進補助事業公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月14日(水)	<p>野村萬斎 ～狂言への誘い～</p> <p>[概要]世界に誇る芸術文化の一つ、「狂言」を取り上げ区民に親しんでもらう機会とする。墨田区民にとっても大変なじみの深い相撲を題材にした狂言「文相撲(ふみずもう)」を分かりやすい解説、また、元関脇勢の春日山親方に相撲甚句をホールで実施した。</p> <p>[出演]野村萬斎、野村裕基、相撲甚句:春日山親方(元関脇 勢)、太鼓:呼出 利樹之丞 ほか</p> <p>[演目]解説/野村萬斎、相撲甚句、狂言「文相撲」「茸」</p>	1,303人
2	7月1日(土)	<p>岩崎宏美&岩崎良美 meets 新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[概要]区民にトリフォニーホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。知名度の高いアーティスト等と新日本フィルとの共演により、区民がより親しみやすい公演を実施した。</p> <p>[出演]岩崎宏美(歌)、岩崎良美(歌)、藤野浩一(指揮)、新日本フィル</p> <p>[演目]シンデレラ・ハネムーン、聖母たちのララバイ、タッチ ほか</p>	1,637人
3	7月11日(火)	<p>赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル！</p> <p>[概要]普段コンサートホールで音楽を聴く機会の少ない層を中心に、誰もが音楽を楽しめる公演として実施した。</p> <p>[出演]米田覚士(指揮)、岩崎瑞穂(司会)、新日本フィル</p> <p>[演目]J.シュトラウス II/常動曲、ポルカ《観光列車》、久石譲/『風の谷のナウシカ』より「遠い日々」、山田耕筰/この道、坂本龍一/戦場のメリークリスマス ほか</p>	749人
4	9月20日(水) 10月14日(土)	<p>新日本フィル・コミュニティ・コンサート 2023</p> <p>[概要]アウトリーチ活動の核となるコミュニティ・コンサート。今回も前年と同様、トリフォニーホールで開催。9月は区立小中学校4校を対象に実施した。また、10月は学校へ出向き、金管五重奏として実施した。</p> <p>[出演](9/20)澤村杏太郎(指揮)、岩崎瑞穂(司会)、新日本フィル</p> <p>[演目](9/20)グリーンカ/歌劇《ルスランとリュドミラ》序曲、ホフマイスター/ヴィオラ協奏曲 ニ長調より 第1楽章、指揮者体験コーナー ビゼー/歌劇《カルメン》より前奏曲、グリーグ/《ペール・ギュント》組曲 第1番より「朝」、チャイコフスキー/バレエ《くるみ割り人形》より「花のワルツ」 ほか</p>	<p>9/20 ①10:30 錦糸小学校 第三寺島小学校 841人</p> <p>②13:15 桜堤中学校 菊川小学校 1040人</p> <p>10/14 吾妻立花中学校 491人</p>
5	11月4日(土)	<p>お腹の赤ちゃんも、ちびちゃんも、お父さんもお母さんも…みなさん「ようこそ！リラックス・コンサート」</p> <p>[概要]妊娠中の夫婦、子育て家庭とその子ども等にリラックスできる音楽と、音楽家や専門家による出産・子育てのトークなどで、妊娠中の不安や孤立を少しでも和らげることを目的に実施した。</p> <p>[出演]和田一樹(指揮)、福田えりか(賛育会病院看護部長)、田添菜穂子(司会)、新日本フィル</p> <p>[演目]ロッシェニ/歌劇《ウィリアム・テル》序曲よりスイス軍の行進、久石譲/オーケストラストーリー『となりのトトロ』、中西圭三/ぼよん行進曲、オッフエンバック/喜歌劇《天国と地獄》より序曲、J.ウィリアムズ/映画『ハリー・ポッターと賢者の石』より「ヘドウィグのテーマ」「ハリーの不思議な世界」</p>	1,002人

回	実施日	事業内容	入場者数
6	1月6日(土)	新日本フィル・ニューイヤー・コンサート 2024 in すみだ曳舟 [概要] 区民に新日本フィルを身近に感じてもらう企画。区北部の住民や、まちづくりの進展に伴い新たに住民となった聴衆層への拡大を目的に、落語と、新年祝賀にふさわしい音楽と一緒に楽しめる内容を実施した。 [出演] 古今亭志ん輔(落語)、和田一樹(指揮)、田添菜穂子(司会)、今井実希(ソプラノ)、新日本フィル [演目] 第1部 落語 古今亭志ん輔: 幾代餅、第2部 オーケストラ J.シュトラウスⅡ/喜歌劇『こうもり』より序曲、ポルカ「観光列車」、ワルツ「美しく青きドナウ」、ヴェルディ/歌劇『リゴレット』より「慕わしき御名」、外山雄三/管弦楽のためのラプソディー ほか	518人

財団と新日本フィルとの共同主催により、年4回の時節を捉えたコンサートを開催し、区民をはじめ家族連れなど幅広い層の集客に努めた。また、新日本フィルの定期演奏会等にも共催し、区民割引を適用した良質な音楽鑑賞機会を安価で提供した。

■新日本フィルとの共同主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月1日(土)	ファミリーコンサート 2023 「オケパンVI《オーケストラは魔法使い》」 [出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ)、宮川安利(演出・ダンス)、森山晶之(ダンス)、新日本フィル [演目] 映画『メリー・ポピンズ』メドレー、ショパン: 華麗なる大円舞曲、仔犬のワルツ ほか	1,147人 975人
2	7月15日(土)	すみだサマーコンサート 2023 オーケストラのとびら [出演] 大井剛史(指揮)、小野あつこ(歌・お話)、新日本フィル [演目] プロコフィエフ: 交響的物語『ピーターと狼』、スメタナ: 連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」、坂田おさむ: ありがとうの花 ほか	1,060人
3	12月31日(日)	宮川彬良 vs 新日本フィル 超! ジルベスター・コンサート 2023→2024 [出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ)、大山大輔(バリトン)、宮川安利(歌)、新日本フィル [演目] 宮川彬良: 交響的物語「雪のひとひら」、いずみたく: 見上げてごらん夜の星を、宮川泰: 『交響組曲 宇宙戦艦ヤマト』より第二楽章 ほか	1,294人
4	1月3日(水)	新日本フィル ニューイヤー・コンサート 2024 [出演] 和田一樹(指揮)、田添菜穂子(司会)、今井実希(ソプラノ)、神農広樹(オーボエ)、新日本フィル [演目] グノー: 歌劇『ファウスト』より「宝石の歌」、J.シュトラウスⅡ: ワルツ「春の声」、J.シュトラウスⅡ: 美しく青きドナウ ほか	1,600人

■新日本フィルとの共催公演

〈すみだクラシックへの扉〉			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月14日(金)	すみだクラシックへの扉 第14回	1,727人
	4月15日(土)	[出演]佐渡裕(指揮)、辻井伸行(ピアノ)	1,708人
2	6月9日(金)	すみだクラシックへの扉 第15回	1,096人
	6月10日(土)	[出演]デリック・イノウエ(指揮)、藤木大地(カウンターテナー)	1,225人
3	7月7日(金)	すみだクラシックへの扉 第16回	1,257人
	7月8日(土)	[出演]ジョゼ・ソアーレス(指揮)、村治佳織(ギター)	1,415人
4	9月29日(金)	すみだクラシックへの扉 第17回	1,380人
	9月30日(土)	[出演]阿部加奈子(指揮)、三浦謙司(ピアノ)	1,587人
5	10月20日(金)	すみだクラシックへの扉 第18回	1,260人
	10月21日(土)	[出演]鈴木秀美(指揮)	1,152人
6	11月10日(金)	すみだクラシックへの扉 第19回	1,632人
	11月11日(土)	[出演]ジャン＝クリストフ・スピノジ(指揮)、HIMARI(ヴァイオリン)	1,612人
7	2月16日(金)	すみだクラシックへの扉 第20回	1,611人
	2月17日(土)	[出演]久石譲(指揮)	1,578人
8	3月15日(金)	すみだクラシックへの扉 第21回	1,506人
	3月16日(土)	[出演]上岡敏之(指揮)、アンヌ・ケフェレック(ピアノ)	1,556人

〈トリフォニーホール・シリーズ〉 定期演奏会			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月8日(土)	第648回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]佐渡裕(指揮) 辻井伸行(ピアノ)	1,681人
2	5月13日(土)	第649回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]沼尻竜典(指揮)、ユーハン・ダーレネ(ヴァイオリン) ほか	1,198人
3	6月24日(土)	第650回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]シャルル・デュトワ(指揮)	1,655人
4	9月9日(土)	第651回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]久石譲(指揮)	1,568人
5	10月28日(土)	第652回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]佐渡裕(指揮)	1,569人
6	1月20日(土)	第653回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]佐渡裕(指揮)、御喜美江(アコーディオン)、白鳥玉季(朗読)、石橋栄実(ソプラノ)	1,346人

〈トリフォニーホール・シリーズ〉 定期演奏会			
回	実施日	事業内容	入場者数
7	3月2日(土)	第 654 回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]秋山和慶(指揮)、児玉桃(ピアノ)	1,080 人

室内楽シリーズ(小ホール)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月6日(木)	室内楽シリーズXX 第 157 回 「ロマンティズムの系譜」Produced by 菅沼希望(NJP 首席コントラバス奏者)	218 人
2	6月22日(木)	室内楽シリーズXX 第 158 回 「今、弾きたい！室内楽作品」Produced by 竹中勇人(NJP 第1ヴァイオリン奏者)	132 人
3	7月6日(木)	室内楽シリーズXX 第 159 回 「民族音楽の匂い」Produced by 矢野晶子(NJP チェロ奏者)	154 人
4	9月28日(木)	室内楽シリーズXX 第 160 回 「モーツァルトとブラームス 内なる情熱、愛、勇気」Produced by 瀧本麻衣子(NJP 首席ヴィオラ奏者)	221 人
5	10月26日(木)	室内楽シリーズXX 第 161 回 「Les femmes fatales 2 ～秘密～」Produced by 佐々木絵理子(NJP 第2ヴァイオリン・フォアシュペーラー)	162 人
6	12月5日(火)	室内楽シリーズXX 第 162 回 「出会い ～新日本フィルの同僚と、異なる時代の作曲家を～」Produced by 岸田晶子(NJP 第1ヴァイオリン奏者)	154 人
7	1月12日(金)	室内楽シリーズXX 第 163 回 「40 周年～あつという間の 40 年。たくさんの感謝とファゴット&弦楽アンサンブルの夕べ。」Produced by 河村幹子(NJP 首席ファゴット奏者)	225 人
8	2月29日(木)	室内楽シリーズXX 第 164 回 「僕の周りの名手たち」 Produced by 弘田徹(NJP チェロ奏者)	160 人

その他			
実施日	事業内容		入場者数
12月17日(日)	新日本フィル 「第九」特別演奏会 2023 [出演]佐渡裕(指揮)、高野百合絵(ソプラノ)、清水華澄(メゾ・ソプラノ)、 笛田博昭(テノール)、平野和(バリトン)、栗友会合唱団		1,717 人

大小ホールの特性を活かす多彩な公演を共催として招致することで公演事業の充実を図った。また、区内で活動する音楽団体が中心となって実施している「すみだストリートジャズフェスティバル」は、今年度はプレイベントとして開催した。

■共同主催公演

すみだストリートジャズフェスティバル 2023 「すみ☆サマ」			
実施日	会場	出演団体	入場者数
8月13日(日)	大ホール	1 Bright Jazz Orchestra	延べ 1092人
		2 ビッグバンド・バグズ	
		3 千葉 スウィート サウンズ ジャズ オーケストラ	
		4 BEATec BIGBAND	
		5 フリソンジャズオーケストラ	
		6 SWING BACCHUS	

■その他共催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月19日(金)	Blue Note Tokyo presents GREGORY PORTER in Concert [出演]グレゴリー・ポーター(ヴォーカル)、チップ・クロフォード(ピアノ)、エマニュエル・ハロルド(ドラムス)、オンドジェイ・ピヴェク(ハモンドオルガン)、ジャマール・ニコルズ(ベース)、ティヴォン・ペニコット(サクソ)	1,357人
2	6月17日(土)	すみだ音楽会 街にあふれる音を皆様と [出演]新日本フィル	1,115人
3	6月27日(火)	オリヴィエ・ラトリー オルガン・リサイタル [出演]オリヴィエ・ラトリー	838人
4	10月13日(金)	Blue Note Tokyo 35th presents JUNKO ONISHI Solo / TIGRAN HAMASYAN“StandArt” [出演]大西順子(ピアノ)、ティグラン・ハマシアン(ピアノ)、ハリシュ・ラガヴァン(ベース)、ジェレミー・ダトン(ドラムス)	765人
5	10月15日(日)	Blue Note Tokyo 35th presents SF JAZZ Collective / Blue Note Tokyo All-Star Jazz Orchestra directed by Eric Miyashiro [出演]SF JAZZ Collective ブルーノートウキョウ オールスタージャズオーケストラ	707人
6	10月29日(日)	群馬交響楽団 東京定期演奏会 [出演]井上道義(指揮)、仲道郁代(ピアノ)、群馬交響楽団	1,525人
7	11月30日(木)	Echoes of Life アリス=紗良・オット ピアノ・リサイタル [出演]アリス=紗良・オット(ピアノ)	1,166人

回	実施日	事業内容	入場者数
8	12月2日(土)	ケルティック・クリスマス 2023 [出演]ダーヴィッシュ、ルナサ、デイヴィッド・ギーニー	1,360人
9	12月3日(日)	究極のゴルトベルク ヴィキングル・オラフソン+清水靖晃&サクソフォネッツ [出演]ヴィキングル・オラフソン(ピアノ)、清水靖晃&サクソフォネッツ(サクソ)	1,237人
10	12月9日(土)	ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2023 [出演]リチャード・カーシー(指揮)、THE ORCHESTRA JAPAN、ささきフランチエスコ(ナビゲーター) ほか	1,676人
11	3月10日(日)	広島交響楽団創立60周年記念東京公演 [出演]下野竜也(指揮)、上野由恵(フルート)、広島交響楽団	1,265人

(2) アウトリーチ事業

オーケストラ演奏を地域住民に届ける「コミュニティ・コンサート」は、区内4校の児童・生徒及び地域の方々を対象に、新型コロナウイルス感染症対策を図りながらトリフォニーホールで実施した。区立小中学校での「音楽指導事業」、福祉施設等での「ふれあいコンサート」に加え、令和5年度は「音楽療法を取り入れたアウトリーチ」「墨田区立中学校吹奏楽への音楽指導」「小中学校向け音楽づくりワークショップ」事業を継続して実施した。

■音楽指導事業

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
1	6月15日(木)	東吾嬬小学校	ヴァイオリン、ホルン、ピアノ	3人	105人
2	6月19日(月)	吾嬬第二中学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	110人
3	6月28日(水)	外手小学校	コントラバス、クラリネット、ピアノ	3人	140人
4	7月5日(水)	押上小学校	弦楽四重奏	4人	505人
5	7月12日(水)	錦糸中学校	フルート、クラリネット、ファゴット	3人	35人
6	7月12日(水)	寺島中学校	チェロ、ピアノ	2人	116人
7	7月13日(木)	吾嬬立花中学校	フルート、チェロ	2人	175人
8	7月13日(木)	中和小学校	打楽器、ピアノ	2人	44人
9	7月18日(火)	第四吾嬬小学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	60人
10	9月4日(月)	文花中学校	チェロ、オーボエ、ファゴット	3人	96人
11	9月6日(水)	第一寺島小学校	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	114人
12	9月13日(水)	八広小学校	コントラバス、クラリネット、打楽器、ピアノ	4人	180人
13	9月13日(水)	隅田小学校	オーボエ、ピアノ	2人	156人
14	9月25日(月)	第三吾嬬小学校	ヴァイオリン二重奏	2人	104人
15	9月26日(火)	業平小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	181人

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
16	10月5日(木)	言問小学校	ヴィオラ、ファゴット、ピアノ	3人	62人
17	10月30日(月)	第二寺島小学校	オーボエ、ピアノ	2人	177人
18	11月7日(火)	菊川小学校	チェロ、コントラバス	2人	122人
19	11月21日(火)	立花吾嬬の森小学校	ヴィオラ、クラリネット、ピアノ	3人	125人
20	11月28日(火)	本所中学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、オーボエ	3人	145人
21	12月1日(金)	墨田中学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	165人
22	12月7日(木)	文花中学校(夜間)	トランペット、ピアノ	2人	30人
23	12月12日(火)	緑小学校	ヴァイオリン、クラリネット、ピアノ	3人	165人
24	12月18日(月)	二葉小学校	ヴァイオリン、ヴァイオリン、ヴィオラ	3人	230人
25	12月18日(月)	曳舟小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	173人
26	1月19日(金)	梅若小学校	ヴァイオリン、オーボエ、ピアノ	3人	115人
27	1月23日(火)	錦糸小学校	トランペット、ピアノ	2人	101人
28	1月24日(水)	中川小学校	ヴァイオリン二重奏	2人	57人
29	1月26日(金)	柳島小学校	コントラバス、クラリネット、ピアノ	3人	150人
30	1月29日(月)	小梅小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	154人
31	2月7日(水)	横川小学校	ホルン、ピアノ	2人	144人
32	2月8日(木)	第三寺島小学校	ヴァイオリン、打楽器、ピアノ	3人	125人
33	2月22日(木)	両国小学校	ヴァイオリン、打楽器、ピアノ	3人	167人
34	3月4日(月)	両国中学校	ヴァイオリン、チェロ、クラリネット、ピアノ	4人	177人
35	3月5日(火)	桜堤中学校	ヴァイオリン、ホルン、ピアノ	3人	495人
36	3月6日(水)	豎川中学校	コントラバス、フルート、ピアノ	3人	250人
合 計				99人	5,450人

■ふれあいコンサート

回	実施日	会場	内容	出演者数	観客数
1	4月30日(日)	ひきふね図書館	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	40人
2	6月29日(木)	社会福社会館	ヴァイオリン、チェロ、コントラバス	3人	50人
3	7月17日(月・祝)	うめわか高齢者在宅サービスセンター	弦楽四重奏	4人	50人
4	8月1日(火)	亀沢のぞみの家(文花)	ヴァイオリン、ハープ	2人	18人
5	8月14日(月)	すみだリバーサイドホール	弦楽四重奏	4人	189人
6	9月19日(火)	本所保健センター	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	15人
7	10月13日(金)	すみだ福祉保健センター	弦楽四重奏	4人	26人

回	実施日	会場	内容	出演者数	観客数
8	10月19日(木)	梅若保育園	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	30人
9	11月16日(木)	なりひらホーム	ヴァイオリン、ギター	2人	29人
10	11月22日(水)	たちばなホーム	ヴァイオリン二重奏	2人	67人
11	12月12日(火)	すみだステップハウス	ヴァイオリン、チェロ、コントラバス	3人	33人
12	12月20日(水)	おむらい保育園	ヴァイオリン、ティンパニ、ピアノ	3人	50人
13	12月20日(水)	さんさんプラザ	ヴァイオリン、チェロ	2人	53人
14	12月28日(木)	喜楽里すみだ工房	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	35人
15	1月15日(月)	すみだふれあいセンター 福祉作業所	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	50人
16	2月3日(土)	トリフォニーホール 小ホール【午前の部】	ヴァイオリン、ヴァイオリン、ヴィオラ、 チェロ、コントラバス	5人	203人
17	2月3日(土)	トリフォニーホール 小ホール【午後の部】	ヴァイオリン、ヴァイオリン、ヴィオラ、 チェロ、コントラバス	5人	210人
18	2月11日(日・祝)	八広図書館	ヴァイオリン、チェロ、コントラバス	3人	86人
19	2月21日(水)	ワクワク工房デイスサービス	弦楽四重奏	4人	15人
合 計				61人	1,249人

■音楽療法を取り入れたアウトリーチ

回	実施日	会場	内容	出演者数	参加数
1	7月4日(火)	隅田小学校特別支援学級	弦楽器演奏体験、管楽器・弦楽四重奏コンサート鑑賞 ほか	4人	18人
2	7月5日(水)			4人	18人
3	7月18日(火)			5人	18人
4	7月19日(水)			5人	18人
5	9月4日(月)	外手小学校特別支援学級	フルートコンサート鑑賞、ハンドベル体験 ほか	2人	21人
6	9月5日(火)			2人	21人
7	9月11日(月)			2人	21人
8	9月12日(火)			2人	21人
9	12月18日(月)	豎川中学校特別支援学級	弦楽器演奏体験、弦楽四重奏コンサート鑑賞 ほか	4人	16人
10	12月21日(木)			4人	18人
11	2月5日(月)			4人	18人
12	2月15日(木)			4人	24人
合 計				42人	232人

■墨田区立中学校吹奏楽部への音楽指導

回	実施日	学校	指導楽器	講師数	参加数
1	5月22日(月)	錦糸中学校①	打楽器	1人	2人
2	6月22日(木)	吾嬭立花中学校①	クラリネット、トランペット、打楽器	3人	11人
3	6月23日(金)	錦糸中学校①	ユーフォニアム&チューバ	1人	1人
4	6月26日(月)	桜堤中学校①	ホルン、ユーフォニアム&チューバ トランペット&トロンボーン	3人	9人
5	6月27日(火)	竪川中学校①	ホルン、トランペット、トロンボーン	3人	12人
6	7月3日(月)	桜堤中学校②	クラリネット、ホルン、トランペット&トロンボーン	3人	8人
7	7月8日(土)	竪川中学校②	トランペット、ユーフォニアム&チューバ、打楽器	3人	8人
8	7月18日(火)	錦糸中学校①	フルート	1人	1人
9	7月18日(火)	両国中学校①	トランペット、チューバ、打楽器	3人	11人
10	8月1日(火)	寺島中学校①	フルート、ホルン、トランペット	3人	7人
11	8月8日(火)	寺島中学校②	サクソ、ユーフォニアム&チューバ、打楽器	3人	8人
12	8月24日(木)	吾嬭第二中学校①	フルート、ホルン、チューバ	3人	3人
13	8月29日(火)	寺島中学校	指導・指揮について(音楽教諭対象)	1人	10人
14	9月21日(木)	両国中学校②	フルート、クラリネット、サクソ	3人	14人
15	9月25日(月)	本所中学校①	ホルン、トランペット、トロンボーン	3人	8人
16	12月26日(火)	本所中学校②	クラリネット、ユーフォニアム&チューバ、打楽器	3人	9人
17	3月26日(火)	吾嬭第二中学校②	フルート、ホルン、チューバ	3人	3人
18	3月27日(水)	墨田中学校①・②	フルート、クラリネット、サクソ、トランペット トロンボーン、ユーフォニアム&チューバ	6人	13人
合 計				49人	138人

■小中学校向け音楽づくりワークショップ

回	実施日	学校名	内容	対象者	参加数
1	12月15日(金)	第四吾嬭小学校	カラダ・オト・ウタウ	小学4年生	29人
2	12月25日(月)	業平小学校	リズムカル・キッチン	小学2年生	101人
3	1月15日(月)	隅田小学校	カラダ・オト・ウタウ	小学5年生	63人
4	2月1日(木)	第一寺島小学校	リズムカル・キッチン	小学5年生	63人
5	2月8日(木)	押上小学校	リズムカル・キッチン	小学3年生	69人
6	2月15日(木)	梅若小学校	One Day セッション	小学4年生	50人
合 計					375人

(3) その他、パイプオルガン及びホールに親しむ機会の提供

音楽をより身近に感じてもらう機会を設け、来場者の拡大を図った。

■オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー

実施日	事業内容	参加者数
9月21日(木)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2023-24 第1回 車いすご利用の方 (引率者含む) 第2回 一般	[第1回 車いすご利用の方] 46人 うち車いすご利用の方 18名
		[第2回 一般] 30人
2月10日(土)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2023-24 第1回 未就学児(保護者含む) 第2回 視覚に障害のある方	[第1回 未就学児] 31人
		[第2回 視覚に障害のある方] 22人

■区民向けオルガン体験会「パイプオルガンを弾いてみよう！！」

「一回体験コース」 ※鍵盤楽器経験不問

実施日	事業内容	参加者数
10月1日(日)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2023-24 対象:[第1回] 墨田区在住・在学の小学3年生～中学生 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 16人 (体験者6人、見学者10人)
		[第2回] 13人 (体験者6人、見学者7人)
3月4日(月)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2023-24 対象:[第1回] 墨田区在住・在学の小学3年生～中学生 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 9人 (体験者4人、見学者5人)
		[第2回] 7人 (体験者5人、見学者2人)

「じっくり体験コース」 ※鍵盤楽器経験のある方

実施日	事業内容	参加者数
9月11日(月) 9月12日(火) 9月13日(水) 9月18日(月・祝)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2023-24 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生以上どなたでも可 9月11日(月) 楽器説明&グループレッスン 9月12日(火) 個人レッスン※3名ずつ 9月13日(水) 個人レッスン※3名ずつ 9月18日(月・祝) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人
		[最終日の試演会] 24人 (体験者6人、見学者18人)
1月19日(金) 1月24日(水) 1月25日(木) 1月28日(日)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2023-24 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生以上どなたでも可 1月19日(金) 楽器説明&グループレッスン 1月24日(水) 個人レッスン※3名ずつ 1月25日(木) 個人レッスン※3名ずつ 1月28日(日) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人
		[最終日の試演会] 12人 (体験者6人、見学者6人)

4 区民等による音楽活動の促進及び育成

音楽による次世代育成やコミュニティ形成に資するため、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの持続的な練習活動及び区内の音楽団体が集う「すみだ音楽祭」を開催した。

(1) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

回	実施日	事業内容	入場者数
1	7月30日(日)	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ 第34回演奏会 「夏休みオーケストラ・コンサート」 [出演] 山本祐ノ介(指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	493人
2	3月24日(日)	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ 第35回演奏会 [出演] 和田一樹(指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	627人
3	3月30日(土)	新八広児童館「ぼかぼか」オープニング・セレモニー [出演] トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラメンバーによる弦楽五重奏	60人

(2) 区民音楽祭「すみだ音楽祭2023」の実施

実施日	施設	出演団体	入場者数
8月20日(日)	大ホール	1 すみだ少年少女合唱団&Chor June	1,750人
		2 女声合唱団 シューベルト・コア	
		3 すみだ男声合唱団	
		4 ブルーメンコール	
8月26日(土)	大ホール	1 立志舎高等学校吹奏楽部	1,251人
		2 墨田シルバーアンサンブル	
		3 すみだマンドリンクラブ	
		4 日本大学第一中学・高等学校吹奏楽部	
		5 AZUMA 吹奏楽団 共演:白鳩太鼓	
		6 墨田区吹奏楽団	
8月26日(土)	小ホール	1 墨田区交響楽団	405人
		2 東京ベーターヴェンクライス	
		3 グリーン・グリーンコーラス	
		4 京島トキメキ合唱団	
		5 淡交混声合唱団	
8月27日(日)	大ホール	1 スウィングライツ・ジャズオーケストラ	740人
		2 ファイアーバード・ジャズオーケストラ	
		3 ハイファイブ・ジャズオーケストラ	
		4 STP JAZZ FUNK ORCHESTRA	

実施日	施設	出演団体		入場者数
		番号	団体名	
8月27日(日)	小ホール	1	合唱団 橘	618人
		2	コール・アミーガ	
		3	立花吾孺の森女声合唱団	
		4	隅田川合唱団	
		5	コンセール・リヴィエール	
合計				4,764人

5 公演情報等の集配業務

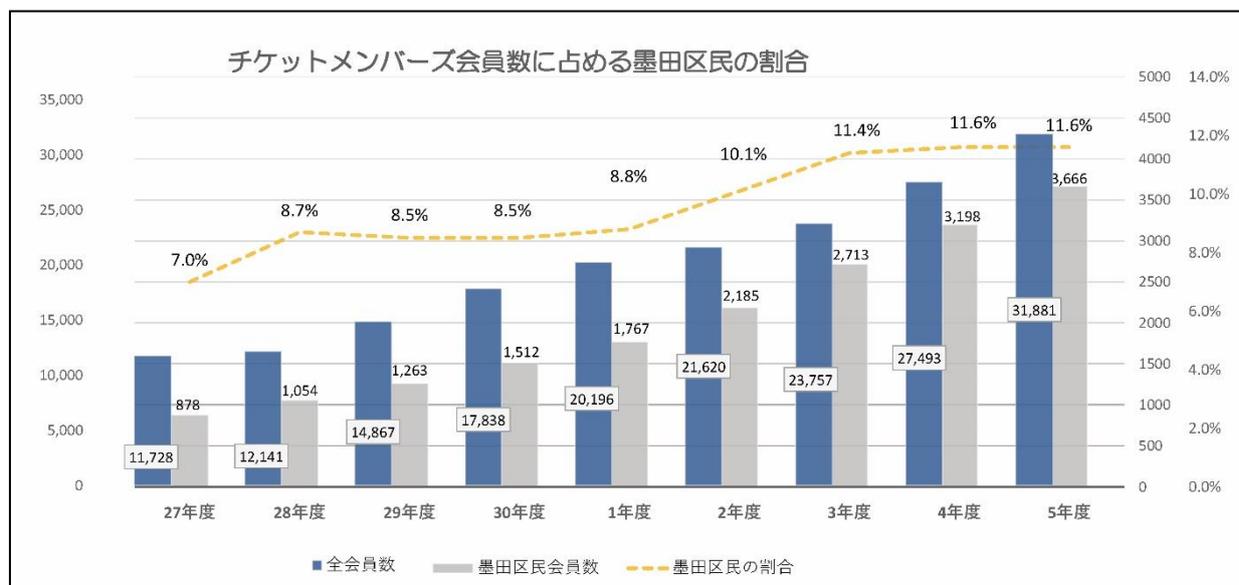
当ホールの認知度向上を図るため、館内や錦糸町駅周辺を中心としたサインやポスターの掲出を行うとともに、公演情報についてはWEB、SNS等を中心に発信した。

(1) 会員組織「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」年会費及び特典

年会費は無料で、会員には特典として定期的に公演情報等をメールマガジンで配信、チケット先行予約、チケット割引販売、チケットのオンライン購入、公開リハーサル招待、ホール近隣ホテルのレストラン割引サービスがある。

(2) トリフォニーホール・チケットメンバーズ会員数と墨田区民の割合

コロナ禍においても戦略的な事業展開を図ったことで、全体の登録者数は増加傾向にあり、墨田区民の登録者の割合も伸びている。



(3) 地域別会員数の推移

年 度	地域 (人口)	合 計	墨田区 (28.2万)	江東区 (52.3万)	葛飾区 (45.0万)	江戸川区 (69.0万)	その他 23区 (857万)	23区 以外 (424万)	千葉県 (626万)	神奈川県 (921万)	埼玉県 (732万)	茨城県 (283万)	その他 の県
5年度	会員数	31,881	3,666	1,348	555	899	8,734	2,421	4,508	3,639	2,532	538	3,041
	割合	100%	11.6	4.2	1.7	2.8	27.4	7.6	14.1	11.4	7.9	1.7	9.6
4年度	会員数	27,493	3,198	1,158	477	764	7,523	2,097	3,900	3,090	2,174	474	2,638
	割合	100%	11.6%	4.2%	1.7%	2.8%	27.5%	7.6%	14.2%	11.2%	7.9%	1.7%	9.6%
3年度	会員数	23,757	2,713	1,001	408	636	6,527	1,852	3,430	2,670	1,869	414	2,237
	割合	100%	11.4%	4.2%	1.7%	2.7%	27.5%	7.8%	14.4%	11.2%	7.9%	1.7%	9.5%

6 施設の利用及び維持管理に関する業務

各施設利用においては、来場者数はコロナ前の約9割近くに達しており、大ホール、小ホール、練習室ともに利用状況が回復し、以前の利用率に戻りつつある。コロナ禍で文化施設を取りまく状況は急激に変化した。これまでの取組みを生かしながら、感染防止に努め、一層安心・安全なホール運営を実現した。

(1) 施設利用実績 ※新型コロナウイルスの影響による臨時休館中の日数・区分数等は除く。

大ホール (1,801席)	5年度	4年度	3年度	小ホール (252席)	5年度	4年度	3年度
利用可能日数	298	311	287	利用可能日数	305	312	282
利用不可日数	68	54	78	利用不可日数	61	53	83
利用日数	266	295	244	利用日数	294	283	232
本番公演数	164	180	152	本番公演数	286	252	221
新日本フィル	42	37	36	新日本フィル	11	11	10
財団	37	55	52	財団	7	5	4
一般	85	88	64	一般	268	236	207
日数利用率	89%	95%	85%	日数利用率	96%	91%	82%
利用可能区分数 (3区分)	883	915	829	利用可能区分数 (3区分)	875	898	820
利用区分数 (3区分)	667	716	553	利用区分数 (3区分)	727	702	564
新日本フィル	277	280	255	新日本フィル	37	51	39
財団	176	235	158	財団	35	56	9
一般	214	201	140	一般	655	595	516
区分利用率	76%	78%	67%	区分利用率	83%	78%	69%

練習室 1 (87.2 m ²)	5年度	4年度	3年度
利用可能日数	319	330	279
利用不可日数	47	35	88
利用日数	223	200	166
日数利用率	70%	61%	59%
利用可能区分数 (3区分)	769	788	578
利用区分数 (3区分)	361	338	230
区分利用率	47%	43%	40%

練習室 2 (20.7 m ²)	5年度	4年度	3年度
利用可能日数	317	315	273
利用不可日数	49	50	92
利用日数	251	226	191
日数利用率	79%	72%	70%
利用可能区分数 (3区分)	739	739	545
利用区分数 (3区分)	362	338	257
区分利用率	49%	46%	47%

練習室 3 (17.7 m ²)	5年度	4年度	3年度
利用可能日数	307	314	269
利用不可日数	59	51	96
利用日数	197	217	169
日数利用率	64%	69%	63%
利用可能区分数 (3区分)	698	729	539
利用区分数 (3区分)	245	302	201
区分利用率	35%	41%	37%

(2) パイプオルガン利用実績

	5年度	4年度	3年度
本番利用	34回	50回	40回
レジスト及び リハーサル利用	25回	32回	24回
合計	59回	82回	64回

(3) 公演実施状況 (ジャンル別)

大ホール(1,801 席)	5年度		4年度		3年度	
ジャンル	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	123	75.0%	141	78.3%	111	73.0%
オーケストラ	97	59.1%	100	55.5%	80	52.6%
新日本フィル	50	30.5%	49	27.2%	43	28.3%
その他(プロ)	6	3.7%	1	0.6%	2	1.3%
その他(アマ)	41	25.0%	50	27.7%	35	23.0%
室内楽・器楽	4	2.4%	4	2.2%	0	0.0%
ピアノ	2	1.2%	4	2.2%	2	1.3%
オルガン	20	12.2%	31	17.2%	28	18.4%
オペラ・オペレッタ	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
声楽	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%
現代音楽	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合唱	6	3.7%	8	4.4%	3	2.0%
吹奏楽	4	2.4%	4	2.2%	5	3.3%
ジャズ・ポップス	17	10.4%	6	3.3%	12	7.9%
演歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
コンクール	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
邦楽	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%
演芸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	13	7.9%	19	10.6%	21	13.8%
合計	164	100%	180	100%	152	100%
入場者数	160,750		139,539		87,319	
平均入場者数	980		775		574	

小ホール(252 席)	5年度		4年度		3年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	181	63.3%	137	54.3%	122	55.2%
オーケストラ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新日本フィル	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(プロ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(アマ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
室内楽・器楽	84	29.4%	76	30.1%	58	26.2%
ピアノ	50	17.5%	37	14.7%	34	15.4%
オルガン	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
オペラ・オペレッタ	2	0.7%	1	0.4%	0	0.0%
声 楽	45	15.7%	23	9.1%	30	13.6%
現代音楽	5	1.7%	4	1.6%	5	2.3%
合 唱	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
吹奏楽	1	0.3%	1	0.4%	1	0.5%
ジャズ・ポップス	3	1.0%	3	1.2%	3	1.4%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	55	19.3%	51	20.2%	43	19.5%
コンクール	19	6.7%	27	10.7%	27	12.2%
邦楽	8	2.8%	13	5.2%	5	2.3%
演芸	4	1.4%	3	1.2%	4	1.8%
その他	7	2.5%	13	5.2%	11	5.0%
合 計	286	100%	252	100%	221	100%
入場者数	30,531		25,389		19,127	
平均入場者数	107		101		87	

II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を調査し、作品収集に貢献した。区の求めに応じて候補資料の選定から収集まで全面的に協力を行うとともに、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管した。

(1) 資料収集

区が収集する資料の候補について、専門的な立場から情報収集及び調査研究を行い、すみだ北斎美術館資料収集委員会及び評価員会の運営に協力した。また、新たに収集した資料の撮影及び収蔵データベースへの登録を行った。さらに、寄贈資料3点を受け入れ、今後の展示企画に繋げることができた。

(2) 資料保管

資料の特性に応じて、温・湿度など最適な環境を維持し、適切な収納方法により保管するとともに、地震など想定される危険に対する安全対策を図った。また、資料の修復の必要性を判断し、必要に応じて修復を進め、その履歴の管理を行った。

・環境整備: 虫菌害環境調査及びIPM(防除対策)のコンサルティングを実施し、IPM計画を策定のうえ、館内の環境整備を図った。

資料保管容器を69点制作した。

・資料修復: 5点(肉筆5点)の修復を実施した。

・燻 蒸: 実施予定時期が臨時休館期間と重なったため、本年度は実施を見送った。

・学術研究等のための資料の撮影又は熟覧: 熟覧2件、撮影1件

・資料の貸出及び借用

(作品貸出)

○福島県立写真美術館「綴」展へ 高精細複製画1点

○長野県立美術館「葛飾北斎と3つの信濃」展へ 肉筆画15点、版画13点、版本12点

○回向院清長忌へ 版画1点

○サントリー美術館「虫めづる日本の人々」展へ 肉筆1点

○大本山建仁寺(特定非営利活動法人京都文化協会・キャノン株式会社主催)「スミソニアン 国立アジア美術館の名宝 ～高精細複製品による里帰り～」展へ 高精細複製画 11点

(作品借用)

○「北斎サムライ画伝」展

・刀剣博物館より 刀剣類2点

○「歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能」展(令和5～6年度開催)

・江戸東京博物館より 版本4点、版画3件(5点)、工芸品2点

・早稲田大学坪内博士記念演劇博物館より 版本1件(5点)

- ・早稲田大学図書館より 版本1件(44点)
- ・国立音楽大学附属図書館より 版本5点
- ・太田記念美術館より 画帖1件、版画4点
- ・国立劇場より 版画1点
- 「北斎グレートウェーブ・インパクト」展(令和6年度開催)
 - ・郵政博物館より 切手・関連資料9点
 - ・山田書店・弦屋光溪氏より 版画1点・版本3点
 - ・大屋書房・五拾画廊より 版画3点
 - ・版三より 版画1点

2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究を行った。その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積や充実を図り、展示事業や刊行物等を通じて一般から専門家まで広く情報を発信した。特に、調査研究の成果を分かりやすく伝えるために、企画展示事業に反映させることに注力し、北斎作品の持つ価値・魅力を最大限に引き出して、社会に還元した。また、その内容については、図録やリーフレットの発行により、広く公表した。

さらに、各種調査研究の成果を、論文・レポートとして取りまとめ、紀要を発行した。

○調査研究図書の出版

- ・「北斎 大いなる山岳」展 リーフレット(A4縦長判/8頁)
- ・「北斎のまく笑いの種」展 リーフレット(A4縦長判/8頁)
- ・「北斎 サムライ画伝」展 図録(A5判/196頁)
- ・「歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能」展 リーフレット(変形判/8頁)
- ・『すみだ北斎美術館 研究紀要 NO.2・館報(令和3～4年度)』(A4判/104頁)

○他館との連携

- ・区立美術館ネットワーク会議への参加
- ・浮世絵美術館学芸員情報交換会への参加

3 展示事業

調査研究の成果を活かし、北斎やその作品の持つ価値・魅力を最大限に引き出して、多様な切り口から広く伝える展示事業を展開した。

(1) 常設展示の実施

4階の常設展示室では、「すみだと北斎とのつながり」や「北斎の画業と生涯」をテーマとして、北斎の代表的な作品を高精細レプリカにより紹介するとともに、情報端末を活用した資料の展示を行った。

また、これら資料の一部展示替えを3回行った。

- ・観覧料:一般 400円、高大生・65歳以上 300円

常設展示の観覧者数

(単位:人)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	ぐるっとパス	計
常設展示のみ	10,223	1,614	2,676	1,382	783	177	13	228	1,579	18,675
企画展示同時観覧	90,092	10,586	21,727	2,526	3,267	5,923	1,430	4,886		140,437
計	100,315	12,200	24,403	3,908	4,050	6,100	1,443	5,114	1,579	159,112

常設展示のみの観覧料収入

(単位:円)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	計
個人	3,984,120	478,920	774,540	5,237,580
前売(個人)	0	0	0	0
団体	0	0	0	0
計	3,984,120	478,920	774,540	5,237,580

(2) 企画展示の実施

年間5回の企画展を開催した(令和4年度からの継続、令和6年度への継続含む)。

また、令和4年度に引き続き「常設展プラス」を2回実施した。2回目の会期中に「常設展プラス」内に特集展示を設け、「北斎の描いた鍵」を展観した。

展覧会の記録及び来館者サービスの一環として、企画展ごとのリーフレットや特別展図録を発行した。

■企画展 会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
			観覧料収入	1日平均
1	北斎 バードパーク	4月1日～5月21日 (44日間)	21,669人	492人
			17,414,480円	395,784円
2	北斎 大いなる山岳	6月20日～8月27日 (60日間)	34,023人	567人
			26,232,730円	437,212円
3	北斎のまく笑いの種	9月20日～11月26日 (59日間)	28,984人	491人
			22,983,200円	389,546円
4	特別展 北斎サムライ画伝	12月14日～2月25日 (60日間)	29,645人	494人
			28,155,830円	469,264円

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
			観覧料収入	1日平均
5	歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能	3月19日～3月31日 (12日間)	7,044人	587人
			5,749,960円	479,163円
計		令和5年度 (235日間)	121,365人	516人
			100,536,200円	427,814円

■常設展プラス 会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
			観覧料収入	1日平均
1	常設展プラス 隅田川両岸景色図巻（複製画）と北斎漫画	4月1日～5月21日、 6月13日～11月26日、 3月19日～3月31日 (200日間)	12,316人	62人
			7,631,340円	38,157円
2	常設展プラス 隅田川両岸景色図巻（複製画）と北斎漫画 特集展示：北斎の描いた鍵	5月23日～6月11日 (18日間)	6,756人	375人
			4,135,400円	229,744円
計		令和5年度 (218日間)	19,072人	87人
			11,766,740円	53,976円

※ 観覧者数はチケットによる入館者数

■各展覧会の実施概要

① 北斎 バードパーク

- ・展示概要：北斎一門の描く様々な鳥や、鳥の意匠を展観し、その美しさや画技の素晴らしさを身近に感じてもらう展覧会である。さらに、鳥が舞台装置としての役割を果たしている点にも着目し、鳥によって表現された季節や場所、人物の思いなどを読み解く。
- ・開催期間：令和5年4月1日(土)から
5月21日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・
65歳以上700円、中学生・
障がい者400円
(小学生以下は無料)



葛飾北斎「芙蓉に雀」

観覧者数(4月1日～5月21日)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	14,070	1,349	3,611	257	593	728	242	819	21,669
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	14,070	1,349	3,611	257	593	728	242	819	21,669

観覧料収入(令和5年度分)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	13,778,800	937,860	2,445,940	77,160	174,720	17,414,480
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	13,778,800	937,860	2,445,940	77,160	174,720	17,414,480

② 北斎 大いなる山岳

- ・展示概要 : 古くから信仰の対象となり、また浮世絵など芸術作品の題材としても多く採用され、日本のみならず西洋の芸術に影響を与えてきた富士山の世界文化遺産登録から10周年を契機に、北斎の描いた山を通して、山の信仰、生業、伝説や怪談を紹介し、日本人と山との関わりを観るとともに、北斎による多彩な山の表現とその魅力に迫る。
- ・開催期間 : 令和5年6月20日(火)から
8月27日(日)まで
- ・開催施設 : 3階企画展示室
- ・観覧料 : 一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円(小学生以下は無料)



葛飾北斎「富嶽三十六景 諸人登山」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	21,009	3,330	4,219	1,104	811	1,756	335	1,459	34,023
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	21,009	3,330	4,219	1,104	811	1,756	335	1,459	34,023

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	20,571,150	2,283,680	2,814,140	327,420	236,340	26,232,730
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	20,571,150	2,283,680	2,814,140	327,420	236,340	26,232,730

③ 北斎のまく笑いの種

- ・展示概要：江戸時代には、狂歌や滑稽本、落語など、庶民でも楽しめる文化が花開き、人々に「笑い」をもたらす“笑いの種”が増えた。北斎や門人が巧みに表現した多様な笑いの表情を捉えた作品や、当館コレクションの特色の一つである戯画シリーズの作品を紹介する展覧会である。

- ・開催期間：令和5年9月20日(水)から
11月26日(日)まで

- ・開催施設：3階企画展示室

- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上
700円、中学生・障がい者300円
(小学生以下は無料)



葛飾北斎「謎かけ戯画集 眼鏡屋とかけて
なぞ坊主ととく心はみな人がかけて見たがる」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	18,333	1,421	5,633	289	674	1,217	307	1,110	28,984
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	18,333	1,421	5,633	289	674	1,217	307	1,110	28,984

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	17,921,000	982,240	3,798,200	85,980	195,780	22,983,200
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	17,921,000	982,240	3,798,200	85,980	195,780	22,983,200

④ 特別展 北斎サムライ画伝

・展示概要：江戸時代を生きた北斎にとって、サムライは身近な存在であった。源頼朝や徳川家康など有名なサムライだけではなく、江戸市中に暮らす太平の世のサムライを描いた作品を展示する。また、刀や鎧といった戦いの道具を取り上げた作品も紹介し、刀剣博物館所蔵の「太刀 銘 信房作」(重要文化財)なども展観する。

・開催期間：令和5年12月14日(木)から
令和6年2月25日(日)まで

・開催施設：3階、4階企画展示室

・観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上
900円、中学生・障がい者400円
(小学生以下は無料)

※音声ガイド 利用実績 314人



葛飾北斎「富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	18,903	2,248	4,207	450	687	1,388	416	1,346	29,645
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	18,903	2,248	4,207	450	687	1,388	416	1,346	29,645

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	22,103,690	1,991,800	3,613,920	178,580	267,840	28,155,830
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	22,103,690	1,991,800	3,613,920	178,580	267,840	28,155,830

⑤ 歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能

・展示概要：北斎が描いた江戸の芸能をモチーフとした作品を紹介する展覧会である。

北斎がデビュー当時に発表した歌舞伎役者を描いた遺存数が少ない貴重な錦絵や、様々な芸能の「お披露目会」の招待状である摺物、身体の動きを確かな筆致で捉えた様々な踊りを描いた作品を展観する。

- ・開催期間：令和5年3月19日(火)から
3月31日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上
700円、中学生・障がい者300円
(小学生以下は無料)



葛飾北斎「新板浮絵三芝居顔見世大入之図」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	4,605	542	1,185	114	139	302	83	74	7,044
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	4,605	542	1,185	114	139	302	83	74	7,044

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	4,496,400	373,240	806,400	33,780	40,140	5,749,960
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	4,496,400	373,240	806,400	33,780	40,140	5,749,960

⑥ 常設展プラス 隅田川兩岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

- ・展示概要：全長約7mに及ぶ「隅田川兩岸景色図巻」の複製画と、『北斎漫画』や『一筆画譜』、『をどり独り稽古』などの北斎の絵手本から数冊ずつ実物大高精細レプリカを展示した。また、期間限定で常設展プラス会場内に「特別展示:北斎の描いた山」を展示した。

・開催期間：

- 1 令和5年4月1日(土)から11月26日(日)まで
(うち5月23日(火)から6月11日(日)まで
「隅田川兩岸景色図巻(複製画)と北斎漫画
及び特集展示:北斎の描いた鑓」を実施。)
- 2 令和6年3月19日(火)から3月31日(日)まで

・開催施設：4階企画展示室

- ・観覧料：一般700円、高大生・65歳以上
600円、中学生・障がい者200円
(小学生以下は無料)



葛飾北斎『北斎漫画』初編

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	13,172	1,696	2,872	312	363	532	47	78	19,072
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	13,172	1,696	2,872	312	363	532	47	78	19,072

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	8,971,340	1,003,320	1,659,960	61,840	70,280	11,766,740
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	8,971,340	1,003,320	1,659,960	61,840	70,280	11,766,740

4 教育普及事業

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことから、教育普及事業全般について、感染症発生前の状況に戻し、対面型で実施した。

(1) 館に親しみを持つ層の拡大

個々で楽しめるようなワークショップや普及事業を講座室で実施し、従前のように対面で作品に親しむ機会を設けて、美術館に親しみを持つ層の拡大に努めた。

事業名	事業内容等	実施日	会場
スライドトーク	「北斎 バードパーク」展 後期の見どころ	4/29(土・祝)	講座室 (参加者 32名)
	「北斎 大いなる山岳」展 前期の見どころ	7/15(土)	講座室 (参加者 41名)
	「北斎 大いなる山岳」展 後期の見どころ	8/19(土)	講座室 (参加者 40名)
	「北斎のまく笑いの種」展 前期の見どころ	10/7(土)	講座室 (参加者 32名)
	「北斎のまく笑いの種」展 後期の見どころ	11/11(土)	講座室 (参加者 34名)
	「北斎サムライ画伝」展 前期の見どころ	1/13(土)	講座室 (参加者 40名)
	「北斎サムライ画伝」展 後期の見どころ	2/10(土)	講座室 (参加者 41名)
講演会・講座	「北斎と鳥～江戸の人々と鳥との交わり～」 講師：細川博昭氏(作家・鳥の文化誌研究者)	5/6(土)	講座室 (参加者 51名)

事業名	事業内容等	実施日	会場
講演会・講座	「北斎×富士登山・信仰・伝説エトセトラ」 講師:篠原武氏(ふじさんミュージアム学芸員)	8/12(土)	講座室 (参加者 41 名)
	たてものツアー 講師:妹島和世建築設計事務所所員	11/18(土)	講座室 (参加者 9 名)
	「北斎一派の作品から学ぶ日本刀」 講師:荒川史人氏(刀剣博物館学芸員)	1/20(土)	講座室 (参加者 38 人)
	「葛飾北斎と山岳表現」 (当館学芸員 出講)	2/11(日・祝)	板橋区立 東板橋図書館 (参加者 19 名)
	日本台湾交流協会主催 「葛飾北斎の人生と北斎漫画の魅力」 (当館学芸員 出講)	3/9(土)	台湾 高雄市 商周書房 (参加者 96 名)
ワークショップ	「ミニ花鳥図屏風を作ろう！」	5/5(金・祝)	講座室 (参加者 15 名)
	北斎サムライ折紙づくり	1/27(土)	講座室(参加者 11 組 20 名)
自由参加型 ワークショップ	サミット総選挙	6/20(火)～ 8/27(日)	3階ホワイエ
	あなたの笑いはどこから？	9/20(水)～ 11/26(日)	3階ホワイエ
	サムライ総選挙	12/14(木)～ 2/25(日)	3階ホワイエ
	#北斎_みんなで踊ってみた	3/19(火)～ 3/31(日)	3階ホワイエ
ワークシート	美術館でバードウォッチング よく観るガイド	4/1(土)～ 5/21(日)	3階ホワイエ 1,820 枚配布 (前年度分含む)
	「北斎の山を探検～山のくらしから妖怪・伝説まで～」	6/20(火)～ 8/27(日)	3階ホワイエ 1,484 枚配布
イベント	〈インバウンド向け:通訳ボランティアが案内業務に従事) 浮世絵摺りの実演	8/5(土)	講座室 (参加者 38 名)
	〈夏休みキッズ企画) 浮世絵の職人入門	8/5(土)	講座室 (参加者 32 名)
江戸文化 体験講座	落語を鑑賞しよう！	11/3(金・祝)	講座室 (参加者 35 名)
	悪玉おどりを踊ってみよう	3/24(日)	講座室 (参加者 35 名)

(2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内外の学校に出向き、北斎の基礎的な情報を得る講座や、北斎を学び体験する授業等、校種や学年に応じた多彩なプログラムを実施した。学校団体の校外学習活動については、管理運営上の支障がない限り、要望どおり受け入れた。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
出前授業	北斎の画を描こう！ ～北斎になってみよう～	10/5(木)	両国小学校	76名 (6年生)
	北斎の画を描こう！ ～北斎になってみよう～	10/19(木)	第四吾嬬小学校	31名 (3年生)
	北斎の作品を鑑賞しよう！	11/7(火)	二葉小学校	85名 (6年生)
	北斎の画を描こう！	1/19(金)	第三寺島小学校	34名 (3年生)
	北斎の作品を鑑賞しよう！	2/15(木)	本所中学校	143名 (1年生)
	北斎の画を描こう！	2/19(月) 2/20(火)	緑小学校	85名 (6年生)
出前授業 制作物展示	第四吾嬬小学校3年生 出前授業制作物 展示	10/24(火)～ 11/5(日)	4階ラウンジ	
	両国小学校6年生 出前授業制作物 展示	11/14(火)～ 11/26(日)	4階ラウンジ	
	二葉小学校6年生 出前授業制作物 展示	1/5(金)～ 1/21(日)	4階ラウンジ	
	第三寺島小学校3年生 出前授業制作物 展示	2/14(水)～ 2/25(日)	4階ラウンジ	

〈その他〉

●社会科見学・校外学習・教員研修等(区立学校のみ掲載)

隅田小学校、横川小学校、二葉小学校、第四吾嬬小学校、曳舟小学校、緑小学校
吾嬬第二中学校

区立学校新規配属教員研修、小学校図工研究部会

●職場体験学習(区立学校のみ掲載)

吾嬬立花中学校、両国中学校

(3) 地域との結びつきを深める取組み

地域との結びつきを深めるために「すみだまつり・こどもまつり」への出展、「北斎祭り」の共催をはじめ、各種イベント等に協力した。また、「隅田川 森羅万象 墨に夢」や区の各種主催事業などについて、講座室を会場として提供した。

〈主な実績〉

- ◇iu 久米ゼミナールによる「すみだ北斎美術館への提案」プレゼンテーション(7月)
- ◇大江戸すみだ職人展(9月:講座室)
- ◇すみだまつり・こどもまつり出展(10月:錦糸公園)
- ◇すみだ子ども PR 大使による当館の PR 活動(10月)
- ◇北斎祭り(10月:講座室)
- ◇「隅田川 森羅万象 墨に夢」関連事業(11月:講座室)
- ◇ボッチャ体験会(11月:講座室)
- ◇「すみだモダン」ワークショップ(11月:講座室)
- ◇入館者 100 万人達成記念「勝手に！北斎賞」表彰式(3月:講座室)

5 図書室運営事業

北斎に関する専門図書室として所蔵資料の情報を適切に整理し、多様な利用者の興味・関心に応えられるよう、閲覧室(開架)と書庫(閉架)を併用してサービスを提供した。また、各企画展の会期中には、その内容に合わせた選書コーナーを設けて、展覧会に関する理解をより深めてもらえるような工夫を行い、運営した。

(1) 利用状況

来室者数 3,585 人 / レファレンス数 86 件

(2) 他館との相互協力

- ・江東区立東陽図書館(8月～9月)
「都内にある専門図書館や図書室・資料コーナーの紹介」企画に、参加・協力した。
- ・墨田区立緑図書館(8月、12月)
緑図書館では、浮世絵関連図書及び企画展案内コーナーを設置した。
当館図書室では、緑図書館所蔵の企画展等に関連する図書の紹介を継続的に行った。
また、緑図書館との連携としてのパスファインダーの紹介を継続して実施した。

(3) その他

- ・図書室利用案内書(豆本)を作成し、7月から配布を開始した。
- ・図書室オリジナルしおりの配布(年始開館におけるプレゼント:計 106 枚)

6 施設の利用及び維持管理に関する業務

- ・講座室については、規程に基づき適切に貸出対応を行うとともに、当館で共催する事業を誘致して、利用実例の蓄積と発信に努めた。〈日数利用率 49%、区分利用率 45%〉

- ・ 貴重な北斎作品等の資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施した。併せて集客施設として、受付・案内業務を接客経験の豊富なスタッフを有する専門事業者に委託し、インバウンドの急増に対しても、館内の安全を確保できるように対応した。
- ・ 開館から7年が経過し、各種設備の老朽化による不具合の発生頻度が高まったため、墨田区と適宜協議を行い、2月26日(月)から3月11日(月)まで臨時休館し、墨田区の指導に基づき必要な補修工事等を実施した。

〈主な補修工事〉

- ◇空冷チラー圧縮機交換工事
- ◇熱源ポンプ及び加湿器補修工事
- ◇空調配管漏水対策工事

7 その他

- ・ インバウンド増加への対応として、キャッシュレス決済の導入や展示室内での翻訳アプリの使用を可としたほか、館内サインの改善に取り組んだ。
- ・ 墨田区における国際交流の一助として、大使館を通じた賓客への対応、及び海外の美術館関係者の視察受け入れ等を行った。
- ・ 開館からの入館者総数が100万人を達成した6月25日(日)に、100万人目の入館者に記念品を進呈するセレモニーを行った。また、入館者100万人を達成した年度の締めくくりとして、3月31日(日)に、「勝手に！北斎賞」表彰式を実施し、当館の事業運営に多大な貢献をしていただいた個人・団体等に謝意を表した。

〈参考:敬称略〉

◇入館者100万人目 八木ヶ谷 柚希

◇勝手に！北斎賞 受賞者

(功劳賞)北斎祭り、みんな北斎プロジェクト、フウガドールすみだのユニフォーム
綴プロジェクト

(特別賞)高橋 正実、カルビー「堅あげポテト」

(未来賞)目黒 龍一郎、黒田 創

Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

地域における文化芸術活動が活発になるよう、区民や文化団体・アーティスト等様々な担い手の取組みの把握に努め、助成制度やアートプロジェクト等の事業を通じて、それぞれの主体的で持続的な活動展開を促進した。墨田区内を中心に行われる多彩な活動を顕在化させ、情報発信や資金支援等を行うほか、文化団体やアーティストが集う機会を設けてネットワーク形成を図り、企画実現のためのコーディネートに努めるなど、中間支援の役割を担っている。

また、国や都、近隣区域の文化政策に関する情報を収集し、制度の活用により事業を充実させることで、文化芸術振興に関する専門性の向上と関連機関等との連携に努めた。

1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、以下の概要で助成事業を実施した。採択活動については、すみだ文化芸術情報サイトと SNS で情報を発信し、選考委員による視察と評価コメントのフィードバック、年度末の振り返り面談を行うなど支援プログラムの充実に努めた。さらに採択団体と選考委員が一堂に会する報告会を開催し、各活動についての報告と質疑応答を行った後、共通する課題についてのグループディスカッションを実施した。

■事業概要

申請要件：5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。営利団体であっても、非営利の文化事業であれば申請できることとする。

対象事業：広く区民等に公開される文化芸術活動で、区の文化振興に寄与する公益性の高い事業であり、原則として区内で行われるものとする。なお、同一団体による同一の活動に対する助成は、令和4年度以降、連続で5年を上限とする。

助成金額：対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。

選考方法：外部専門家を含む5名の選考委員により、①区民に対する訴求力、②事業の実現性、③企画力や独創性、④将来性を基準に、書類審査とヒアリングを経て決定。

助成実績：採択活動7件(申請19件)、助成総額350万円

■実施概要

時期	内容
令和5年4月1日(土)	令和5年度交付決定通知
4月1日(土)～令和6年3月31日(日)	採択活動の実施、随時視察
12月21日(木)	令和5年度活動報告会
令和6年1月9日(火)～29日(月)	令和6年度助成対象活動募集
3月6日(水)	令和6年度助成対象活動ヒアリング・最終選考会

2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、本サイトでは区内の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報を登録方式で集約している。イベント情報は、各団体が発行するメールニュース等の転載や、助成事業及びアートプロジェクト「すみゆめ」と連動した情報発信により、年間 88 件を掲載した。また、コロナ禍における支援情報の掲載などでサイト自体の発信力も増してきている。

- ・登録件数 :185 件(前年度 170 件)
- ・総アクセス数 :2万 5,240 件(前年度3万 5,155 件)
- ・総ページビュー :7万 1,973PV(前年度5万 6,462PV)

3 文化政策及び文化事業に関する調査

財団の中間支援機能を高めるために、国や都、他の自治体の文化政策の動向等について継続的に情報収集を行った。併せて、財団が取り組む事業に対して、文化政策等の専門家からなるアドバイザリーボードの意見を聴取した。

(1) 文化施策に関する情報収集

東京藝術大学が主催する「すみだ川アトラウンド～ARTs×SDGs でつながる隅田川流域の民間組織コレクティブ化構想」(助成:文化庁)のオープンミーティング等に参加し、墨田区をはじめ近隣区域の文化団体やアート NPO などの活動について情報収集と意見交換を行った。

(2) アドバイザリーボードを活用した検討

文化政策の専門家や文化施設運営、助成制度等に詳しい有識者によるアドバイザリーボード会議を令和6年3月 22 日(金)に開催し、本年度の財団の事業について進捗状況を報告したうえで、事業の成果と課題や区の施策の方向性について意見を聴取した。

4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開設を機に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会の事務局として事業を推進した。「北斎」「隅田川」はじめ地域資源に因むテーマで、区内及び隅田川流域で行われる活動を公募し、採択企画に対しては補助金交付や技術サポート等を行うとともに、参加団体相互の交流を促している。本年度は、実行委員会の主催企画2件、公募によるプロジェクト企画 13 件を実施した。

外部からの評価として、KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」が、2023 年度(第 17 回)キッズデザイン賞を「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」で受賞したほか、経済産業省が公表した地域の活性化に向けたアートプロジェクトの手引きとなる「×ART(かけるアート)スタートアップガイドライン」に河川空間での活用事例として、すみゆめの取組みが紹介された。

■運営体制

- 主催 「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区
- 協賛 株式会社東京鋌兼、東武鉄道株式会社
- 助成 ・公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
[地域芸術文化活動応援助成]
KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」
・一般社団法人 MAM
隅田川 百歳の瀬 | ももとせのせ「すみゆめ踊行列」
・メディア・パートナー J-WAVE 81.3FM
- 事務局 公益財団法人墨田区文化振興財団



チラシ等掲出キービジュアル

■事業概要

- ・プロジェクト企画支援内容:1企画あたり補助金上限100万円、区の施設の減免による利用可、技術サポート(照明・音響、展示施工など)の相談にも応じる。
- ・選考方法:外部の専門家を含む5名の選考委員により、①企画の独自性・先駆性、②企画の実現性、③テーマとの親和性、④主体的参加・ネットワーク形成の意欲、⑤地域への波及効果・社会的意義といった基準から採択企画13件を決定する(応募数:31件)。
- ・チラシ、WEB、SNSを活用した広報と、YouTubeアーカイブ及び活動レポートを配信する(7件)。
- ・メイン期間以外でも趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募集し、広報協力を行う(8件)。
- ・参加団体や地域の方々が集う「寄合」を月1回程度、区内の文化拠点などで実施する(9回)。

■主催企画

①「隅田川 百歳の瀬 | ももとせのせ」

関東大震災から100年、甚大な被災の記憶を留めるすみだの地で、鎮魂と再生をテーマに2つのプログラムを展開した。隅田公園そよ風ひろばでは、岸野雄一氏のプロデュースにより多彩な歌手や演奏家を迎え、「すみゆめ踊行列」を開催。生演奏盆踊りを中心に、地元町会の獅子舞や纏振り・木遣り、佃島の盆踊りなどを交え、櫓の周りに幾重にも踊りの輪が広がった。

隣接する牛嶋神社では、北斎が疫病退散を祈念して絵馬を奉納したことに因み、アーティストの水川千春氏が隅田川の水で描いたあぶり出し絵《天宇受売命再生乃図》を制作、神楽殿に展示。展示初日にライブあぶりパフォーマンスを行い、作品に込めた思いを伝える機会となった。

【すみゆめ踊行列】

- ・日時 10月28日(土)14:00～20:00
- ・会場 隅田公園そよ風ひろば
- ・参加者数 4,156名

【天宇受売命再生乃図～2つの絵馬のあいだで踊る～】

- ・日時 10月22日(日)～28日(土)9:00～17:00
- ・会場 牛嶋神社神楽殿
- ・参加者数 1,122名



② KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」

身長 180 cm、ダンボール製の巨大力士を制作するワークショップ「巡業」を区内4つの部屋(東駒形、東向島、亀沢、キラキラ橘)で行い、個性豊かな 32 体の力士が「本場所」に集った。会場には力士制作チームを迎え、オンラインでハンマーを動かす「電子どんどこ！」の仕組みと併せて試合を進めた。日本相撲協会の協力を得て、当日は親方の解説、呼出による太鼓の披露や元力士による相撲甚句や弓取式など、すみだに息づく相撲文化も紹介、YouTube ライブで広く発信した。すべての力士の健闘を称え、地元の谷町からは懸賞品が授与された。また令和6年大相撲一月場所では、両国国技館に巨大紙相撲力士 32 体を展示して、本事業について広く紹介した(観覧者数:約 25,000 人)。

- ・巡業 11月12日(日)、18日(土)、19日(日)、23日(木・祝)
- ・本場所 12月3日(日)13:30～17:00
- ・会場 すみだリバーサイドホール
- ・参加者数 巡業:187名、本場所:293名、YouTube ライブ視聴数:998件



■実施概要

時期	内容
令和5年3月6日(月)～4月17日(月)	「プロジェクト企画」の募集(応募 31 件)
5月10日(水)	選考会にて 13 企画を採択
5月31日(水)	オリエンテーション及び第1回寄合
6月30日(金)	プログラム内容のプレスリリース
9月1日(金)～12月24日(日)	「すみゆめ 2023」開催メイン期間
令和6年2月23日(金・祝)	2023 年度活動報告会

※ 実行委員会の実施:令和5年4月27日、8月31日、令和6年3月22日

※ 「寄合」の実施(9回):令和5年5月31日、6月26日、7月19日、8月16日、9月22日、10月11日、11月8日、12月6日、令和6年1月15日

※ 参加者数:延べ 15 万 3,839 人/視聴回数:延べ 6,358 回

5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

すみだ文化芸術情報サイトやすみゆめの事務局運営を通じて、地域との人的ネットワークや情報が蓄積してきたこともあり、区内の文化芸術活動に関する問合せ窓口としての役割が期待されている。報知新聞コミュニティ季刊紙や、J:COM、そよ風 PRESS など地元メディアへの情報提供や記事掲載も定着しており、地域の文化活動を発信する一助となっている。

関連情報の収集に関しては、東京都建設局河川部が主催する隅田川サポーター交流会に引き続き参加するほか、東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の「Artpoint Meeting #12 “わたした

ち”の文化をつくる」などで、地域に根差すアートプロジェクトの動向を把握した。さらに、助成事業やすみゆめで関わったアートNPOの活動を継続的に視察して(一般社団法人藝とワークショップ「地域で暮らす高齢者へ向けたアートプログラムを考えよう!」、すみだパーク演劇部扉座大人サテライト公演「ご長寿ねばねばランド」)、事後の成果把握に努めている。

なお、区内で文化芸術活動を行う方を対象とする「文化芸術活動に関するオンライン相談日」には、本年度は19件の問合せがあった。